

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	上級ダイビング実習	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツトレーナー科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	ダイブマニュアルⅠ、Ⅱ / レスキューマニュアル				
担当教員情報					
担当教員	平川	実務経験の有無・職種	有・ダイビングインストラクター		
学習目的					
<p>アドバンスダイバーとして必要な技術を再確認し、更なる経験を習得し、グループコントロール方法などを通じダイビングリーダーとなる為の訓練を実施します。</p> <p>安全に楽しくダイビングを行う上での潜水計画の立案、その計画を実行するための潜水技術、様々なトラブル対応策、ダイビングリーダーとしての知識と技術を習得します。</p>					
到達目標					
<p>ダイビングリーダーで最も大切なことは、参加する受講者の安全確保です。また、万一トラブルが発生したときの救急体制の確立も重要です。安全管理とは、水中でのトラブルや潜水中の事故を未然に防止することであり、そのためには考えられる限りの安全対策を講じる必要があります。ダイビングリーダーとしての安全管理について、潜水事故防止対策の具体策など上級実習を通じて習得していきます。</p>					
教育方法等					
授業概要	ダイビングリーダーに必要な知識と技術を期間内に習得する。 安全潜水を立案し遂行できるダイバーを目指す。				
注意点	中級ダイビング資格取得者 ダイビング器材は乱暴に扱わず、実習中は大切に使用してください 実習中の健康管理には十分気を付けてください				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	筆記試験		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	50%	実技試験		
平常点	0%				
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	グループ潜水・チームリーダーについて	グループ潜水の注意事項やリーダー、アシスタントの役割など具体的な動きを理解します			
2回	安全管理、潜水計画の立案法	ダイビング中の安全管理、潜水計画及び実施に必要なものを理解します			
3回	トラブル回避策、救急法、CPR	アクシデントの回避策・AED訓練機を使用し救急法技術を習得します			
4回	【スキン&スクーバ】器材の取り扱い&チェック&セッティング&リセット&水洗い	ダイビング器材の取扱、チェック方法、洗い方などの習得			
5回	【スキン】スキル	スキンドайビングでの入水・出水法、スノーケル呼吸法とクリアー法の技術を習得します			
6回	【スキン】マスククリア（マスクなし呼吸、マスク投げ）	スキンドайビング装備でのマスククリアーの基本技術と応用技術の習得			
7回	【スキン】ウエイト離装着	水面、水中でのウエイト離装着方法を習得します			
8回	【スキン：深域】潜降/浮上、マスククリア、ウエイト離装着	水深5m程度への垂直潜水法、マスク・ウエイトを水中で外し、水中で装着する方法の習得			
9回	【スクーバ】基本技術の確認	スクーバダイビングの基本技術の習得			
10回	【スクーバ】水中コンパスナビゲーション	水中でコンパスナビゲーションの習得			
11回	【スクーバ】水中情報の収集	潜水計画立案に必要な水中シーンの情報収集の仕方を修得			
12回	【スクーバ】リーダー研修①	潜水計画に沿った潜水、安全管理方法を実施し、リーダーの理解を深める			
13回	【スクーバ】リーダー研修②③	潜水計画に沿った潜水、安全管理方法を実施し、リーダーの理解を深める			
14回	【スクーバ】リーダー研修④	潜水計画に沿った潜水、安全管理方法を実施し、リーダーの理解を深める			
15回	【レスキュー】レスキュー訓練	沖合で溺れている人の救助方法を習得します			